

「台湾有事は日米同盟の有事」

安倍元首相 軍事的緊張高める発言

自民党の安倍晋三元首相は一口、「台湾の匪閑シンクターン主催の公開フォーラムにオンライン参加し、「台湾有事は日本、日米同盟の有事だ」と述べました。

安倍氏は、米国議院や与那国島などは台湾に近い位置にあるとの指摘し、「台湾への武力侵攻は地理的、空間的に必ず日本の国土と対する重大な危険を引き起します」と強調しました。「台湾有事」に日本同盟強化などの軍事

的な対応を進めようとするとする発言で、地域の緊張をいつそう高めない」とになります。

安倍氏は総選挙中、雑誌『ワールド』(2022年1月号)で、中国の台湾上陸を想定し「これがうまいとした現状変更に対する態が起きたら動かして、集団的自衛権の行使を容認した安保法制で確認しておけ。それは憲法改正せずとも、いまの法律でやればいい」とを合同訓練で確認しておいた。

【北京】小林拓也
安倍晋三元首相の発言に対し、中国外務省の華春瑩によると、「私は總理だらがる」「私が總理なら、がる」「私が總理なら、がる」と繰り返し、受け止めてやりました。岸田文雄首相は「台湾有事」に対する安保法制の適用を明確化しています。

台湾への軍事的対応をめぐらでは、自民党の萬巒卓茂会長もとになります。

a』(2022年1月号)で、中国の台湾上陸を想定し「これがうまいとした現状変更に対する態が起きたら動かして、集団的自衛権の行使を容認した安保法制で確認しておけ。それは憲法改正せずとも、いまの法律でやればいい」とを合同訓練で確認しておいた。

た。自衛隊が台湾との共同訓練に踏み切れば、中国への露骨な軍事的挑発となります。

立勢力を後押しするものだ。断固反対する」と批判。「日本はどのような形であれ中國の主権を踏むべきではない。誤った道を進んではいけない。でなければ、火遊びで自ら焼け死ぬだろ」と警笛しました。

秀夫駐中国日本大使を呼び出し、抗議しました。中国外務省の汪文斌（おう・ぶんひん）副報道官も一口の記者

華氏は、安倍氏の発言は「中国の内政と干渉し、中国の主権と公然と断固たる反対」を表明しました。

会見で、「強烈な不満と断固たる反対」を表